

コロナ禍における 特別活動の在り方



札幌市特別活動研究会

令和2年6月

特別活動の基本的な考え方

「こうすればできる」への発想の転換

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、通常の教育活動を実施することが難しく、「できないこと」「取り組みにくいこと」がある中で、**最初から「できない」と考えるのではなく、「これならできる」「こうすればできる」と取り組み方を工夫して実践していくことが大切です。**

どうすればできるかを考えることが大切です



特別活動の特質

特別活動は、「**なすことによって学ぶ**」を指導原理としている**自主的・実践的な集団活動**です。特別活動は、具体的な内容が示されている「教科」とは異なり、具体的な活動は各学校ごとに決め、ねらいを達成するために適切な時数を配当して実践します。

- 「集団活動ができない」と決めつけるのではなく、「コロナ禍の状況（規制がある）の中でどのような取組ができるか」を**子どもたちが（と）考えて活動をつくっていく**ことに、特別活動の目標に迫る価値があります。
- 集団での活動を前提とする特別活動（委員会活動、クラブ活動、ふれあい活動、学校行事など）を、**活動形態や活動内容を工夫すれば**コロナ禍においても実施できます。



「3密」を避けながらも工夫して活動できます

人の間で生きるから「人間」になる

感染拡大防止に向けて「**人の間を離す**」ことが求められていますが、特別活動における考え方の基本は、「人の間で生きるから『人間』になる」という考え方です。集団活動においては、活動すればよいのではなく、**思いを共有する**ことに学びがあります。

大切にしたい4つの意識

特別活動の大きな特質は「**集団活動**」という点です。集団活動において、次の4つの意識を育むことが大切です。

- ①**目的意識**…何のために活動するのか
- ②**役割意識**…目的の実現のために自分ができるとは何か
- ③**仲間意識**…集団の一員としての思いの強さ
- ④**所属意識**…集団の一員として加わっているという自覚

- 学習指導要領において「**適切な授業時数を充てるものとする**」と定められており、児童会活動・クラブ活動・学校行事で「やらなくてもよい」という活動はありません。
- 「**自主的・実践的」「自発的・自治的**」の意味を捉える必要があります。「自発的・自治的」な活動を特質としているのは、学活(1)、児童会・クラブ活動です。
- 2期4節という「育ちの過程」**の区切りを見直したり、それぞれの節に「目標」「重視する集団活動（運動会や学習発表会など）」を設定し直したりして、年間指導計画を再構成することが大切です。
- 「3密を避ける」「声を出さない」という条件の中で、どんな活動をどのように取り組むかを**子どもたちが（と）考え**、望ましい人間関係や生活を築く力を高めることが大切です。

2期4節の「育ちの過程」の見直し

4つの節で「育てたい力」を育む

1年間を4つの節（育ちの過程）に分け、**節のねらい**をはっきりさせ、それぞれの節に大きな行事（運動会、学習発表会、卒業式など）を置き、**望ましい集団活動**や**人間関係を築く力**を育みます。

単に行事の実施日の変更ではなく
枠組みを…



学校行事は、**全校又は学年を単位とする大きな集団による活動**であり、学校生活に秩序と変化を与え、楽しく豊かな学校生活をつくるために必要な活動です。

【見直しの例】

- 2期4節の**区切り**を変更する。（前期を4～10月とする等）
- 各節に縦割り集団活動の大きな取組を**1つずつ設定**する。（青文字の行事）

具体的な活動内容

| | 育ちの過程 | 月 | ねらい | 具体的な活動内容 |
|----|-----------------------------|------|---|--|
| 前期 | <1節> 【出発期】 知ろう | 臨時休業 | 活動の意味や取り組み方を知り、場に応じた行動を考えながら活動する。 | ○始業式・着任式 ○入学式 ○児童会任命式 1年生を迎える会 ○終業式 |
| | | 6 | | |
| | | 7 | | |
| 前期 | <2節> 【躍動期】 やってみよう | 8 | 自分の役割に責任をもち、仲間と知恵を出し合って試行錯誤しながら活動し、仲間とのかかわりを深める。 | ○始業式 ○修学旅行（6年生） 大運動会 ○宿泊学習（5年生） 全校ふれあい集会 |
| | | 9 | | |
| | | 10 | | |
| 後期 | <3節> 【充実期】 高めよう | 11 | 集団の一員としての自覚をもち、仲間とのかかわりを広げながら協力して活動する。 | 学習発表会 ふれあいオリエンテーリング ○終業式 |
| | | 12 | | |
| | <4節> 【飛躍期】 ふり返り、つなげよう | 1 | 集団としての高まりや共に活動をつくり上げてきた仲間のよさを感じ取りながら、さらに仲間とのかかわりを深める。 | ○始業式 6年生ありがとう集会 卒業証書授与式 ○修了式・離任式 |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |

学校行事の在り方



学校行事では、以下のことを大切にします。

- 「集団活動」であること。協力する姿や集団への連帯感や所属感を高める場であること。
- 「儀式的行事」「文化的行事」「健康安全・体育的行事」「遠足・集団宿泊的行事」「勤労生産・奉仕的行事」の5つの行事をバランスよく実施すること。
- 感染症対策による内容の見直しをする際には、各行事の特質をしっかりと捉え、ねらいを明確にしたうえで考察する。実施手順ばかりにとらわれないようにする。
- 時数確保のためには、実施可能な取組を「圧縮」して行うのが望ましい。安易な「削減」ではなく、特別活動において育成すべき資質・能力をしっかりと踏まえて実施する。



行事の種類によってねらいや取り組み方、指導のポイントが異なります。校内で共有することが大切です。

行事によっては、保護者や地域の方々との連携も大切になります。特色ある学校文化を「新たに作る」発想をしましょう。



運動会を考える

運動会の内容を考える際に、A:運動会のもつ特質 B:集団活動としての運動会 ということをおさえて検討していくことが必要です。

【A:運動会の特質】

- ①勝敗がある。
- ②高学年が運営に関わる。
- ③家庭や地域に広く公開する。
- ④ルール遵守や規律ある行動が求められる。

【B:集団活動としての運動会】

- ①体育的な内容を通しての集団活動である。
- ②全校又は学年で協力して取り組む活動である。
- ③「体育的な集団活動」なので、教科としての体育で取り扱う内容ではなくてもよい。
- ③仲間のよさを認め合って取り組む。

感染症対策を考慮した活動のアイデア ～参考にして下さい～

- ・各種目や競技の時間を短縮する。
- ・ねらい、学校の規模、実態等をふまえた上で、全校一斉開催やブロックごとの開催など、感染症対策をとりつつも、子どもや保護者にとって適切な開催方法を考える。ブロック開催の際は、組み合わせを工夫し、1・4年、2・5年、3・6年とし、高学年の活躍や運営に携わる姿をより発揮できるようにする工夫も考えられる。
- ・運命走や団体競技を行う場合は、密にならないようなルールや内容にする。その際、子どもからアイデアを募ることも考えられる。
- ・応援合戦を行う場合は、盛り上げ方を工夫する。①開会式で校長が話をした台を応援団も使用して、子ども同士が対面しない形式 ②その場では歌わず、歌入り音源等を活用 ③セリフ部分は事前に録音したものを使用 等も考えられる。子どもからの発意発想も大切にする。

避難訓練を考える

「子ども」だけでなく「教職員にとって」も大切な訓練が避難訓練です。

「コロナ禍においてどのように避難するとよいのか」を考えて計画を立て実施することが大切です。

- 「レベル2」の場合はグラウンド避難後、一堂に会さずに教室に戻る
- 講評は校内放送で
- 避難で並ぶ時もソーシャルディスタンス

コロナ禍での学習発表会…どうする？

これまでは、劇や総合劇づくり、様々な合奏や合唱などの表現活動で学習発表会を行ってきた学校が多いと思います。しかし、コロナ禍での実施にあたっては、例年と同じ取組をすることはできません。そのため「ねらいや育てたい力」を大切にしつつ、**取組時数や発表時間の圧縮、また、表現方法を見直すなどして行う必要があります。**

例えば、以下のような取り組み方が考えられます。



学習発表会は…自主的・実践的な集団活動です

- 互いに努力を認めながら協力してつくる。(役割意識を育む)
- 発表し合うことを通して、自他のよさを見つけ合う。
- 振り返りを通して、よさを伸ばす。

- ① 「特別活動で育みたい力」をはっきりさせます。
- ② 学校として圧縮発表時間、取組時数を設定します。
- ③ 学校として感染防止策を図りながらできそうな表現活動を洗い出します。児童会活動の取組として子どもたちからアイデアを募ることも方法の一つです。

コロナ禍に対応した工夫を

- 声は録音して、演技のみで表現
- 手話やボディーランゲージで
- ビデオ映像で発表
- 打楽器でリズムづくりを



児童・保護者公開日のアイデア

- 児童公開はペア学年同士。他学年はビデオ放送を通して交流。
- 児童と保護者公開日を同一日にし、児童はテレビ観覧。保護者のみ体育館で観覧。
- 保護者入替の際に、座席消毒の協力を求める。

今年の修学旅行、バスレクは難しそうだけど…

「どんなバスレクならできそうか？」を子どもが(と)考えることが大切です。感染拡大防止を図りながらも、心のつながりを強くしたいという思いを高めることができます。

- 一人一人が○・×表示を持ったら、クイズなどで意思表示ができそう。そのほかのゲームにも使えそう。
- ビンゴなら楽しく過ごすことができそう。

児童会活動の在り方

学校生活の充実と向上を図るための活動です!

児童会活動では、次のことを大切にします。

- ①楽しく豊かな学校生活をつくる
- ②自主的に活動する
- ③人間関係を深める

次の活動に取り組みます。

- ①計画や運営の活動
- ②異年齢集団による交流
- ③学校行事への協力



こんな時だからこそ…

- ・3密をさけて何か楽しい活動はできないかな?
 - ・全校で何か発信できることはないかな?
 - ・新しい生活様式にあわせた運動(集会)に取り組もう。
- ※児童の発想を生かし実践させてみる。「**自発的・自治的な力**」をつけることができそうです。

異年齢集団活動の在り方

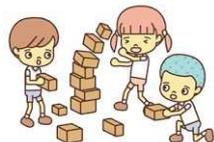
異年齢の他者と望ましい人間関係を築く活動です!

異年齢集団活動では、次のことを大切にします。

- ①集団への所属感
- ②リーダーシップとフォロアーシップ
- ③人間関係を深める

次の活動に取り組みます。

- ①計画や運営の活動
- ②異年齢集団による交流活動
- ③多様性を認める



こんな時だからこそ…

- ・密にならない遊びを考えさせたい。
 - ・ペアやグループづくりを工夫させたい。
- ※下学年に「活動の計画や運営」を任せてみる。上学年は「**役割意識を発揮して活動を支えていく力**」を高めることができそうです。

クラブ活動の在り方

共通の興味・関心を追求する集団活動です!

クラブ活動では、次のことを大切にします。

- ①共通の興味・関心を追求する
- ②自分たちで運営する
- ③人間関係を深める

次の活動に取り組みます。

- ①計画や運営の活動
- ②クラブを楽しむ活動
- ③クラブの成果の発表



こんな時だからこそ…

- ・効果的に活動をさせたい。
 - ・いろいろな活動を短時間で楽しませたい。
- ※異年齢グループをつくり、輪番で運営させてみる。「**自分たちで活動を進めていく力**」をつけることができそうです。

例年よりも少ない時数の中でも、
実現できることはあります!

今だからこそ、子どもたちが自分たちの生活をつくる力を高める！

学級活動は、この状況下で「どのように楽しい学級生活をつくるか」「どんな目標を設定すればよいのか」を考え、合意形成や意思決定をすることに大きな学びがある**自主的・実践的な活動**です。

「もっと楽しくすごすために」みんなで知恵を出し合う

生活上の問題を発見し、学級会で話し合い、みんなで解決します。

「出し合う」「比べ合う」「まとめる」の段階を経て学級全体で**合意形成を図ります**。決まったことを協力して実践していく**自発的・実践的な活動**が学級活動(1)です。

学級生活に潤いを与えるために必要不可欠な活動です。

各学年の段階を踏まえ、**中学校への見通しをもった指導**を通して「自主的・実践的な態度」を育みます。

【低学年】**教師と一緒に**

【中学年】**教師の力を借りて**

【高学年】**自分たちの力で**

【学級会の議題例】

- 「1m離れる」を守って仲良くなれる集会をしよう
- 声を出さずに思いを伝える集会をしよう
- 学級全員遊び with コロナの計画を立てよう
- 1年生に学校の楽しさを伝える番組を作ろう
- 新しい生活様式にあった係活動を考えよう



例えばこんな集会も！

- 大縄くぐり集会…全員がくぐり抜けるタイムを更新する
- ジェスチャー集会…手振り身振りでメッセージを伝え合う

「もっとよりよくするために」原因を知り、目標をきめる

日常生活をよりよくしていくための**目標をもつため、話し合いを通して問題解決を図ります**。「つかむ」「さぐる」「見つける」「きめる」の段階を経て、最後に自分の意思決定をします。

【学級活動(2)の題材例】

- 「新生活スタイル」で自分たちの生活を見直そう
- コロナいじめや差別のない学級の在り方を考えよう

「もっとこうなりたい」を実現するために、生き方を考える

将来に向けて**希望や目標をもって力強く生きていこうとする意欲や態度を身に付けることがねらいです**。**働くことの意義や、責任や役割を果たすことのよさ**を理解する大切な活動で、**意思決定の機会をつくる**ことが大事です。

【学級活動(3)の題材例】

- 自分の家庭学習を見直そう
- 自分の夢に向かって、頑張りたいことを見付けよう

係活動は**できる条件を整理して実施可能に**

- 一定の距離を保って行う活動
- 自分のものを使う活動
- 広い場所を使って行う活動



係活動は学校生活を楽しくするために必要なものです。一定の条件の中でも工夫をした活動ができます。また、**当番活動とは区別し、自分たちで工夫した活動ができる係にすることが大事**です。

コロナ禍でもできる**おすすめの集団遊び**

- ・ふやしりとり
- ・後出しジャンケン
- ・方向ジャンケ
- ・いつどこでだれが何をした
- ・落ーちた落ちた
- ・「〇〇」と言えば
- ・サイレントジェスチャーゲーム
- ・古今東西
- ・30秒時計
- ・デモクラシーゲーム
- ・合わせてパン
- ・パッチンルー

学校の新しい生活様式

特別活動 Q & A

- 1 時数減に伴い、クラブ活動をなくしてもいいですか。また、実施するとしたら何時間まで減らすことができますか。

学習指導要領に定められており、**実施することになっています**。またクラブ活動の授業時数については、各学校がクラブ活動のねらいを達成するために必要と思われる授業時数を年間、学期ごと、月ごとなどの適切に設定することになっています。留意することとしては、「**クラブの組織づくりと活動の計画や運営**」「**クラブを楽しむ活動**」「**クラブの成果を発表**」の3つの内容を効果的に行うように設定しなければならないという点です。

- 2 特別活動の時間が縮減されたため、委員会活動をなくしてもよいですか。また実践するなら高学年については委員会活動があるので係活動をしなくてもよいですか。

委員会活動はなくしてはいけませんし、係活動は、学習指導要領に示された目標を達成できるような**組織（係）を作り、仕事を分担し、協力し合い実践します**。高学年であっても係活動に取り組み、自分達の生活基盤である学級での**生活の充実や向上**を目指し、**よりよい生活を創っていこうとする態度を養う**ことは大切です。

- 3 学校行事には、5つの内容がありますが、全部やらずに幾つかに絞って取り組めばよいですか。

学習指導要領においては、①儀式的行事②文化的行事③健康安全・体育的行事④遠足・集団宿泊的行事⑤勤労生産・奉仕的行事は**全て実施する**よう定められていますので、やらなくてもよいということにはなりません。

4 運動会を中止にしましたが、「体育的行事」を実施する必要がありますか。

運動会を中止にした場合は、**それに準じた取組を行わなければなりません**。学級又は学年毎の短距離走、表現といった「**体育的な活動**」ではなく「**体育的な集団活動**」を行う必要があります。また、「学校の新しい生活様式」を徹底した上での取組とし、運営の一部を児童に担わせるなどして、**役割意識や主体的に取り組もうとする態度**を育てていくことが大切です。

5 文化的行事の目標に「平素の学習活動の成果を発表し」と書かれているので、学習発表会を「学習参観日に普段の学習の成果を発表する」ような形態にしてもよいですか。

教科の学習を公開する学習参観日として行うことは**適当ではありません**。文化的行事である学習発表会は、児童が学校生活を楽しく豊かなものにするため、互いに協力し発表し合うことにより、**自他のよさを見つけ合う喜び**を感得するとともに、自己の成長を振り返り、**よさを伸ばそうとする意欲**をもつことができるようにすることをねらいとしています。

6 コロナ禍において避難訓練をすることは難しいと考えますが、今年度、避難訓練を実施しなくてもよいですか。

避難訓練は、災害等から身を守るために大切な取組です。児童が**安全な行動や規律ある集団行動を体得するための取組は必要**です。児童数や校舎規模等の各校の状況に応じて**避難経路の見直し**を行うとともに、学年毎での**事前の避難経路の確認**（児童とともに）、当日は学年毎に避難し教室に戻るといった方法もあります。

7 児童会活動やクラブ活動で異年齢の活動は行っているのですが、今まで行ってきた縦割り活動は行わなくてもよいでしょうか。

学校で大事にしている活動であれば、**できるだけ取り組むことが望ましい**です。異年齢集団による交流は広く学校の取組として行われています。集会、遊びや掃除等、異年齢集団による交流では、上学年の児童は**リーダーとしての意識**や下学年への「**思いやり**」の心が育まれるとともに**自己有用感**をもつことができます。また、下学年の児童には「**憧れ**」の気持ちが育ちます。